

## 半年の猶予を活かしましょう

電気料金の値上げに対し、全国で唯一補助金によって値上げを抑えてきた沖縄。玉城知事は9月9日に12月までの延期を発表しました。政治力、財力、決断力。沖縄県はエライ!と連載をスタートして3カ月。そこで2つの疑問。なんで沖縄だけができるの? いつまでこれができるの?

次は皆様の決断力が問われる番です。さすがに永久に補助は続かない中で、沖縄だけが勝ち取ったこの半年間の猶予期間で何をしましたか。このコラムでは節電の1丁目1番地として照明をLEDに変えてしまおうと呼びかけましたが、実行しましたか? LEDにすれば7割以上の電気料金が削減されます。7割になるのじゃなくて7割

減るんですよ。1月からの大幅な電気料金値上げを考えれば今すぐ借金してでもLEDにしてしまうべきなのです。特に業務用電力は97%アップ(自由化標準単価)ととんでもない値上げになるのですから、倍になる電気料金を払う前に省エネできるところはすべて変えてしまうべきです。

補助に予算を使うのは良いのですが、実は県庁の施設の多くはまだLEDになっていません。こちらでは県民の税金が7割余計に払われ続けています。沖縄では〇〇市も××町も△△村役場も学校も病院も公民館もまだまだ蛍光灯のまま、無駄な電気代を払い続けています。皆さんの税金が沖縄電力の石炭代になって燃えているのです。近い将来に倍の電気料金が襲ってくるのですから、1月の値上げスタートの前に借金してでも省エネ投資は終えておくべきなのです。

明るい未来を守るために少々怖い話を。私は農水省の依頼で、全国の農道をLED化する勉強会に協力しているのですが、その中で出た話です。2019年で生産終了した安定器があと10年ほどですべて寿命を迎えます。安定器が切れてしまうと蛍光灯も街路灯もトンネル灯も消えてしまう。もしもその時に全国的なLED不足が解消しないと、局所的な長期停電が起こります。LEDは今も半導体不足で生産待ちですが、これからますます需給バランスが崩れていきます。真っ暗なトンネルは怖いですね。

もともと物流にハンデのある沖縄では、この猶予期間の間に全国より少しでも早く手配をすべきです。せつかく半年の猶予期間を勝ちとったのですから、やれることは全てやってしましましょう。



presenter

「いつまでも  
あると思うな蛍光灯」  
ですよ皆さん!

越智 文雄

Fumio Ochi

エネルギーコンサルタント

1957年生まれ。80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。1997年電事連でCOP3に立ち会う。2008年北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局長。2012年株式会社あかりみらい起業。全国のカーボンニュートラル対策、完全LED化に取り組む。

株式会社あかりみらい

お問合せはこちら

**0120-760-814**  
 フリーダイヤル受付(平日9時~17時30分)

沖縄支社 那覇市久米2-3-15 COI那覇ビル5階